

令和３年　３月　１５日

(宛先)工事担当課長

工事検査課長

「熱中症対策に資する現場管理費補正」の運用について(通知)

このことについて、富山市では近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症（安全）対策に係る費用として現場管理費を補正することになりましたので、所属職員に周知くださるようお願いいたします。

運用については、別紙のとおり取り扱うこととします。

なお、この運用は令和３年４月１日以降に作成する設計書に適用します。

記

１．内　　容

（１）運用文書　事務取扱要領、資料気象観測所一覧

（２）補足資料　・参考資料①, ②、記載例①, ②, ③－１, ③－２
・気温の計測(確認・出力)方法　気温又はWBGT(暑さ指数)
・熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について（Q&A）

以　上

令和 3 年 3 月 15 日

(宛先) 工事担当課長

工事検査課長

新型コロナウイルス対策に伴う「熱中症対策に資する現場管理費補正」の運用について(通知)

工事現場の熱中症対策については、新型コロナウイルス対策に伴い、当面のあいだ下記のとおり、真夏日の定義を読み替え取り扱うこととします。

記

1 真夏日の定義

「熱中症対策に資する現場管理費補正」の運用について(通知)」における真夏日の定義を日最高気温が 28 度以上の日と読み替えるものとします。

2 注意事項

令和 3 年 4 月 1 日以降に真夏日に関する計測結果の報告を受ける工事に適用します。

なお、真夏日の定義を日最高気温が 28 度以上の日と読み替えるのは、令和 3 年 4 月 1 日以降とします。

熱中症対策に資する現場管理費補正について

令和3年3月

富山市工事連絡会議土木部会

「熱中症対策に資する現場管理費補正」の運用について

1 目的

近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に係る経費の現場管理費を補正する。

2 対象工事等

(1) 対象工事

主たる工種が屋外作業である工事を対象とする。

ただし、工場製作工を含む工事は当該期間を工期から除くものとする。

(2) 対象地域

富山市の全ての地域を対象とする。

3 用語の定義

(1) 真夏日

真夏日は次のどちらかとする。

① 日最高気温が30度以上の日をいう。

② WBGT（暑さ指数）が25度以上の日。

※夜間工事の場合は作業時間帯が①または②の日とする。

※受注者が①または②を選択することができ、①及び②を併用することは不可とする。

(2) 工期

工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。

なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

4 積算方法等

(1) 真夏日率の算出

受注者より提出された計測結果の資料を基に、以下の式により真夏日率を算出する。

$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$

(2) 補正方法

現場管理費の補正は、以下の式により補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

$$\text{補正値（％）} = \text{真夏日率} \times 1.2$$

$$\text{現場管理費} = \text{対象純工事費} \times ((\text{現場管理費率} \times \text{補正係数}) + \text{補正値})$$

ただし、補正値については「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」及び「緊急工事の場合」と重複する場合においても、最高2%とする。

5 既契約工事における変更

(1) 受発注者協議

本通達日以降に受発注者間で工事打合簿により本補正の適用を協議するものとする。なお、発注者からの工事打合簿欄に「7 特記仕様書への記載 (2) 既契約工事に変更で追加する場合」の内容を明記すること。

(2) 気温の計測期間

協議により「基準日」を定め、当該基準日から工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を計測するものとする。

なお、計測方法等については、「6 気温の計測方法等」に準じること。

(3) 積算方法

既契約工事における真夏日率の算出方法は、以下の式によるものとする。

$$\text{真夏日率} = \text{基準日から工期末まで真夏日} \div \text{工期}$$

現場管理費の補正方法は、「4 積算方法等」によるものとする。

6 気温の計測方法等

(1) 施工計画書への記載

受注者が熱中症対策に資する現場管理費補正を希望する場合は、工事着手前（既契約工事は協議後）に受注者より提出される施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の方法を記載させるものとする。

(2) 気温の計測方法 ※ [資料]気象観測所一覧をご確認願います。

① 気象庁の地上気象観測所の気温を用いる場合

[気象庁 HP] <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/select/prefecture00.php>

- ・ 施工現場が平地(海拔高度200m未満の地域)に位置する場合は、最寄りの観測所の気温数値を確認する。
- ・ 施工現場が山間部(海拔高度200m以上の地域)に位置する場合は、八尾地域気象観測所の気温数値を確認し、以下の算定式により補正を行うものとする。
ただし、気温条件又は現場条件により次の算定式により難しい場合は、監督員と協議の上、補正方法を決定するものとする。

【算定式】

$$\text{補正後の気温(℃)} = \text{気温(℃)} - \text{標高差(m)} \times 0.6 \div 100$$

標高差(m) = 工事現場の標高(m) - 124 (m) (八尾地域気象観測所の標高)

* 補正後の気温は、小数点第2位四捨五入1位止めとする。

< 計算例 > 施工現場の標高が200mの場合、標高差は76mである。
 $76\text{m} \times 0.6 \div 100 = 0.456\text{℃}$ 気温が30℃ならば、
補正後の気温は、29.5℃ となる。

② 環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いる場合

[環境省 HP] http://www.wbgt.env.go.jp/record_data.php

施工現場が平地・山間部の位置に関わらず、最寄りの地点の暑さ指数(WBGT)を用いる。

③ ①又は②による計測が難しい場合

施工現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いることも可とする。なお、計測に要する費用は受注者の負担とするものとする。

(3) 計測結果の報告

施工計画書に基づき、下記の内容を報告させるものとする。

[工期、工期日数、真夏日日数、計測結果(気象庁または環境省の観測データ)]

7 特記仕様書への記載

特記仕様書には以下の記載例を参考に、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事である旨等を明示することとする。

(1) 当初から記載する場合

<記載例>

第〇条 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行

(1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行対象工事である。試行対象工事は、「熱中症対策に資する現場管理費補正」の運用について(通知)に基づくものとする。熱中症対策に資する現場管理費補正を希望する場合は、受注者は施工計画書に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。

(2) 計測方法は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とし、気象庁、環境省のデータは併用できないものとする。ただし、これによりがたい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の気温測定方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いるものとし、計測に要する費用は受注者の負担とする。

(3) 対象期間は工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時休止している期間は含まない。

(4) 施工計画書に基づき提出された計測結果をもとに対象期間内の真夏日率に補正係数を乗じて補正値を算出し、現場管理費率に加算するものとする。なお、真夏日とは日最高気温が30度以上の日をいい、WBGT(暑さ指数)を用いる場合は、WBGTが25度以上となる日を真夏日と見なす。

真夏日率 = 工事期間中の真夏日 ÷ 工期

補正値(%) = 真夏日率 × 1.2

現場管理費 = 対象純工事費 × ((現場管理費率 × 補正係数) + 補正値)

ただし、補正値については「積雪寒冷地で施工時期が冬期となる場合の補正」及び「緊急工事の場合」と重複する場合においても、最高2%とする。

(2) 既契約工事に変更で追加する場合

< 記載例 >

第〇条 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行

- (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行対象工事である。試行対象工事は、「熱中症対策に資する現場管理費補正」の運用について(通知)に基づくものとする。熱中症対策に資する現場管理費補正を希望する場合は、受注者は変更施工計画書に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法・基準日を記載し、監督員に報告するものとする。
- (2) 計測方法は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とし、気象庁、環境省のデータは併用できないものとする。
ただし、これによりがたい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の気温測定方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いるものとし、計測に要する費用は受注者の負担とする。
- (3) 真夏日の計測期間は基準日から工事の終期までの期間とする。
また、工期は工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実施日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。
なお、真夏日の計測期間及び工期には年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時休止している期間は含まない。
- (4) 変更施工計画書に基づき提出された計測結果をもとに対象期間内の真夏日率に補正係数を乗じて補正值を算出し、現場管理費率に加算するものとする。
なお、真夏日とは日最高気温が30度以上の日をいい、WBGT(暑さ指数)を用いる場合は、WBGTが25度以上となる日を真夏日と見なす。

真夏日率 = 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

補正值(%) = 真夏日率 × 1.2

現場管理費 = 対象純工事費 × ((現場管理費率 × 補正係数) + 補正值)

ただし、補正值については「積雪寒冷地で施工時期が冬期となる場合の補正」及び「緊急工事の場合」と重複する場合においても、最高2%とする。

8 施工箇所点在工事への適用

施工箇所点在型工事については、点在する箇所毎に補正を行うことができるものとする。

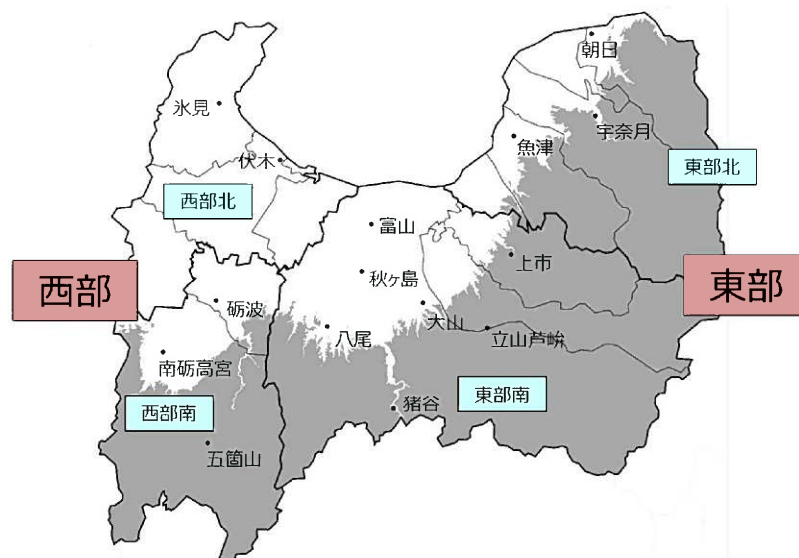
9 その他

上記の取扱いについて、地域の実情等により、対応が困難な場合については、これらによらないことができる。

気象観測所一覧

種 別	観 測 所 名	観 測 種 目					観 測 所 所 在 地	位 置		観 測 所 の 標 高 m	風 向 風 速 計 の 地 上 高 m
		降 水 量	気 温	風	日 照 時 間	積 雪		北 緯 度 分	東 経 度 分		
気象官署	富山	○	○	○	○	○	富山市石坂 2415	36 42.5	137 12.1	9	20.0
特別地域気象観測所	伏木	○	○	○	○	○	高岡市伏木古国府	36 47.5	137 03.3	12	15.3
航空気象観測所	秋ヶ島	○	○	○		○	富山市秋ヶ島 35（富山空港）	36 38.9	137 11.2	24	10.0
地域気象観測所	朝日	○	○	○	○	○	下新川郡朝日町南保町	36 56.2	137 33.8	43	10.1
"	氷見	○	○	○	○	○	氷見市七分一	36 51.8	136 57.6	7	10.2
"	魚津	○	○	○	○	○	魚津市六郎丸	36 49.3	137 25.7	48	10.0
"	砺波	○	○	○	○	○	砺波市五郎丸	36 36.6	136 57.3	69	6.5
"	上市	○	○	○	○		中新川郡上市町東種	36 40.2	137 25.4	296	10.0
"	南砺高宮	○	○	○	○		南砺市高宮	36 32.7	136 52.3	91	10.0
"	八尾	○	○	○	○		富山市八尾町樫尾	36 34.2	137 09.5	124	10.1
地域雨量観測所	大山	○					富山市花崎	36 36.5	137 17.0	128	—
"	宇奈月	○					黒部市宇奈月町内山	36 50.8	137 33.4	160	—
"	五箇山	○					南砺市下梨中の平	36 25.8	136 56.5	357	—
"	立山芦峯	○					中新川郡立山町芦峯寺	36 34.6	137 23.1	379	—
"	猪谷	○				○	富山市猪谷	36 28.4	137 14.2	215	—

- ※ 緯度・経度は世界測地系による。
- ※ H19. 12. 26 魚津観測所、H21. 3. 17 上市観測所、H21. 3. 19 南砺高宮観測所パンザマスト更新により風向風速計の地上高変更。
- ※ H22. 3. 17 氷見観測所パンザマスト更新により風向風速計の地上高変更。
- ※ H22. 3. 29 立山芦峯運用開始。
- ※ H23. 12. 1 伏木特別地域気象観測所、観測機器更新により風向風速計の地上高変更。
- ※ H29. 1. 25 伏木特別地域気象観測所、嵩上げにより風向風速計の地上高変更。
- ※ H29. 3. 8 秋ヶ島観測所、観測機器更新により風向風速計の地上高変更。
- ※ H29. 7. 26 八尾観測所の移設。
- ※ H29. 7. 31 伏木特別地域気象観測所、嵩下げにより風向風速計の地上高変更。
- ※ H29. 9. 27 泊観測所の移設。観測所の名称を「朝日」に変更。移設により風向風速値は統計切断。その他の観測値は統計継続。
- ※ H29. 11. 9 秋ヶ島の積雪観測開始。



- 東 部 東 部 北：滑川市、魚津市、黒部市、下新川郡（入善町、朝日町）
東 部 南：富山市、中新川郡(上市町、立山町、舟橋村)
- 西 部 西 部 北：高岡市、氷見市、射水市、小矢部市
西 部 南：砺波市、南砺市
- 沿岸の海域 海岸線から 20 海里（約 37Km）以内の海域
- 平 地 海拔高度 200m 未満の地域
- 山 間 部 東部と西部南の海拔高度 200m 以上の地域

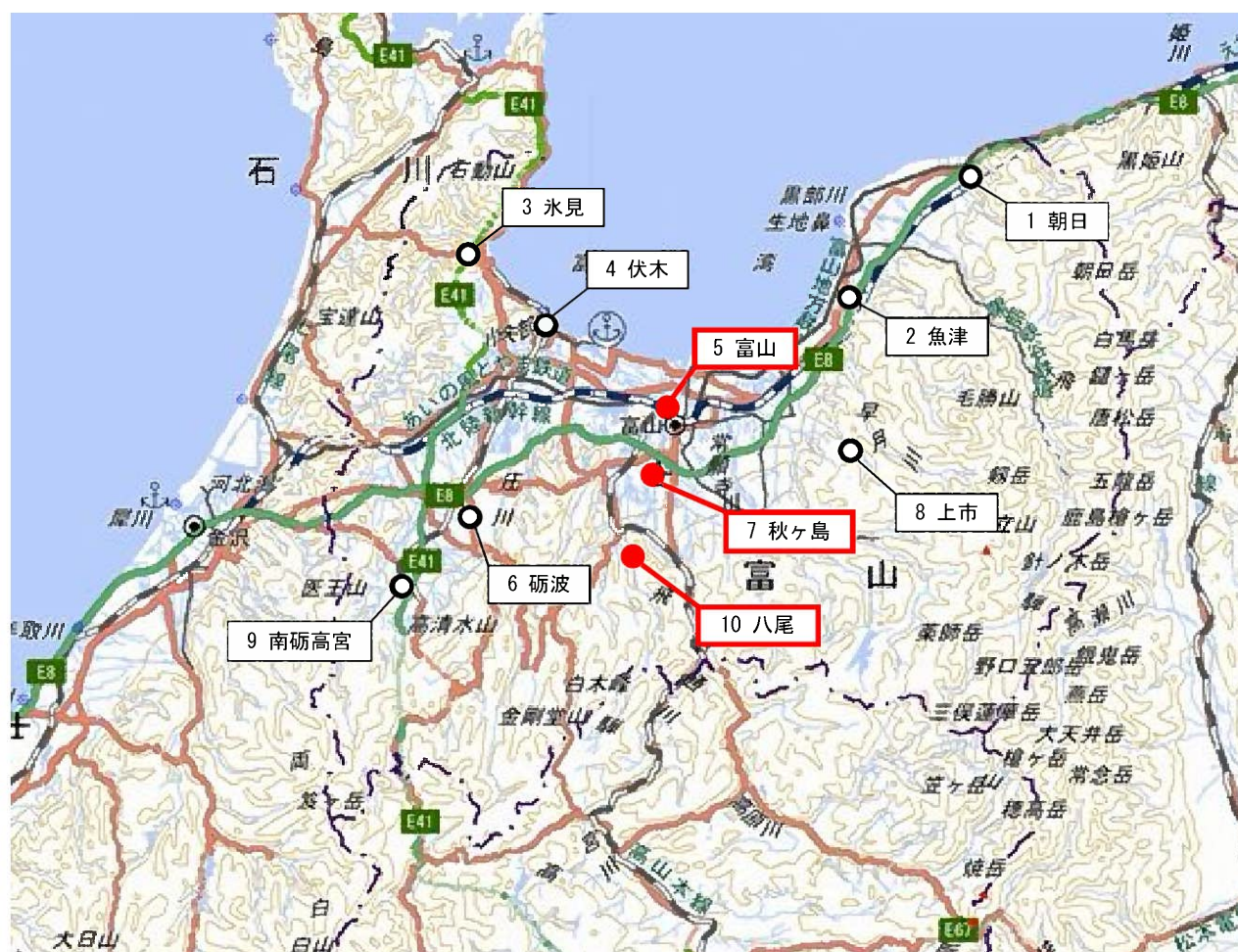
補 足 資 料

○富山市内の気温観測可能な観測所一覧とWBGT公表観測地点

富山県内の気象観測所一覧

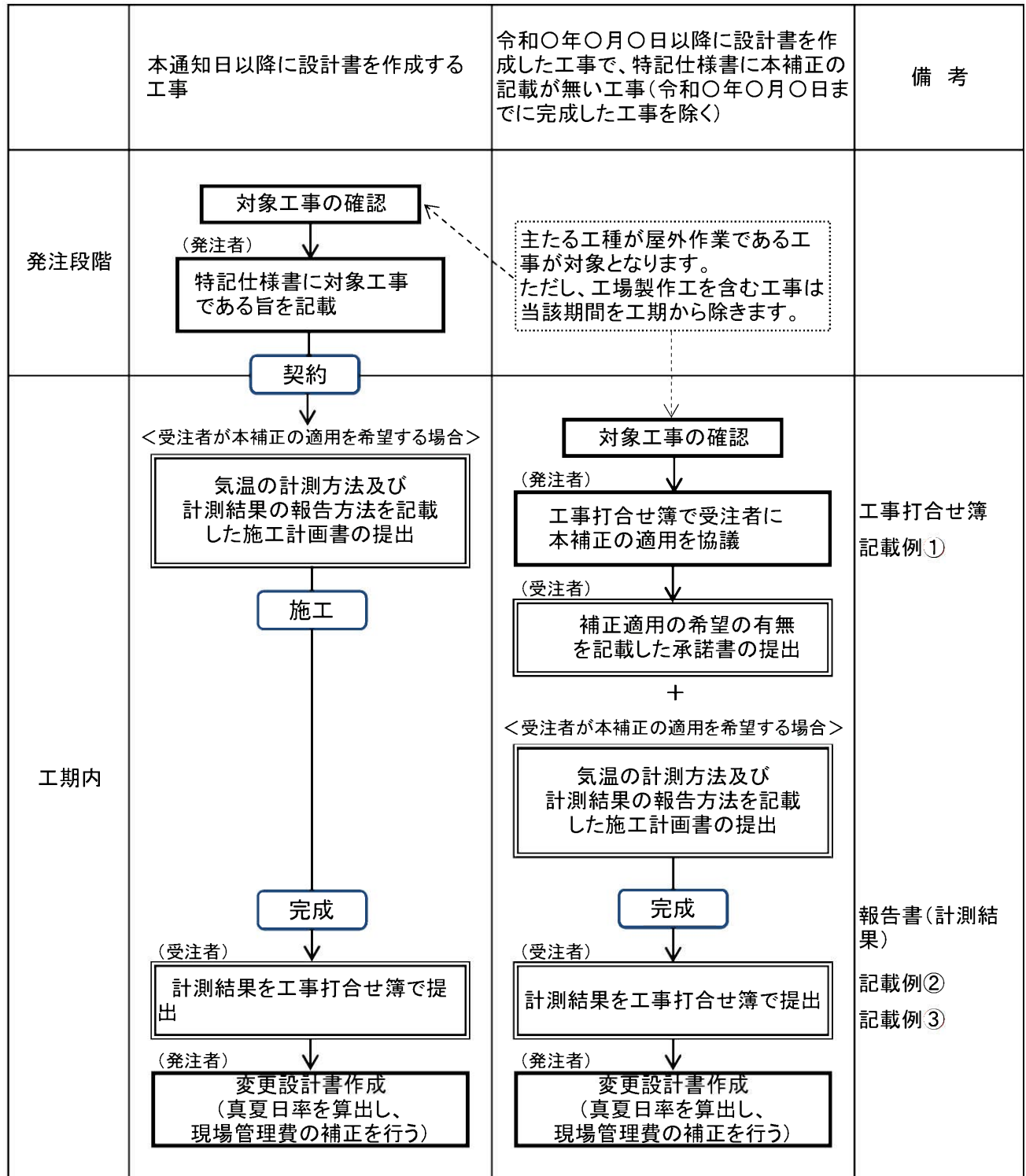
No.	県名	観測所名	所在弛	WBGTの観測
1	富山県	朝日	下新川郡朝日町南保町	○
2		魚津	魚津市六郎丸	○
3		氷見	氷見市七分一	○
4		伏木	高岡市伏木国府	○
5		富山	富山市石坂2415	○
6		砺波	砺波市五郎丸	○
7		秋ヶ島	富山市秋ヶ島35	×
8		上市	中新川郡上市東種	○
9		南砺高宮	南砺市高宮	○
10		八尾	富山市八尾町檜尾	○

<気象観測所位置図>



○手続きフローについて

熱中症対策に資する現場管理費補正の手続き手順は、下記の通りです。



※ は発注者の手続き、 は受注者の手続きを示す。

工事打合せ簿

記載例 ①

工事名	●●●●●●線道路改良工事			
受注者	〇〇建設株式会社			
発議者	☒ 発注者	☐ 受注者	発議年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
下記について ☐ 指示 ☐ 承諾 ☒ 協議 ☐ 通知 ☐ 受理 ☐ 了解 ☐ 提出 ☐ 報告 ☐ 届出 ☐ その他				
(内容) 下記のとおり「熱中症対策に資する現場管理費補正」について協議します。 記 (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行対象工事であり、熱中症対策に資する現場管理費補正を希望する場合は、受注者は変更施工計画書に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法・基準日を記載し、監督職員に報告するものとする。 (2) 計測方法は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。 ただし、これによりがたい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いるものとし、計測に要する費用は受注者の負担とする。 (3) 真夏日の計測期間は基準日から工事の終期までの期間とする。また、工期は工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。 なお、真夏日の計測期間及び工期には年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含めない。 (4) 変更施工計画に基づき提出された計測結果をもとに対象期間内の真夏日率に補正係数を乗じて補正値を算出し、現場管理費率に加算するものとする。 なお、真夏日とは日最高気温が30度以上の日をいい、WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上となる日を真夏日とみなす。 添付図 葉、 その他添付図書				
処理・回答	☐ 発注者	☒ 受注者	処理・回答 年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
上記について ☐ 指示 ☒ 承諾 ☐ 協議 ☐ 通知 ☐ 受理 ☐ 了解 ☐ 提出 ☐ 報告 ☐ 届出 ☐ その他				

課 長	課長代理	係 長	監督員
印	印	印	印

現場代理人	主任 (監理) 技術者
印	印

工事打合せ簿

記載例 ②

工事名	●●●●●●線道路改良工事			
受注者	〇〇建設株式会社			
発議者	☐ 発注者	☒ 受注者	発議年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
下記について				
☐ 指示 ☐ 承諾 ☐ 協議 ☐ 通知 ☐ 受理 ☐ 了解 ☐ 提出 ☒ 報告 ☐ 届出 ☐ その他				
します。				
(内容)				
熱中症対策に資する現場管理費補正について、下記のとおり報告します。				
記				
工 期 ： 令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日				
工期日数 ： 〇〇日 (年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間を除く)				
工期期間中の真夏日(※) ： 〇〇日				
計測結果 ： 別添資料のとおり(気象庁または環境省の観測データを添付)				
(※既契約工事は、基準日から工事の終期までの期間の真夏日の日数とする。)				
添付図 葉、 その他添付図書				
処理・回答	☒ 発注者	☐ 受注者	処理・回答 年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
上記について				
☐ 指示 ☐ 承諾 ☐ 協議 ☐ 通知 ☒ 受理 ☐ 了解 ☐ 提出 ☐ 報告 ☐ 届出 ☐ その他				
「熱中症対策に資する現場管理費補正」の報告について設計変更の対象と				
します。				

課 長	課長代理	係 長	監督員
印	印	印	印

現場代理人	主任 (監理) 技術者
印	印

(様式)気温用

令和 〇 年 〇 月 〇 日

気温計測結果報告書

工事名： ●●●●●●線道路改良工事

工事場所： 富山市 ●●●●●● 地内

工期： 令和 〇 年 〇 月 〇 日 ～ 令和 〇 年 〇 月 〇 日

使用観測データ： 日最高気温（気象庁） [●●]

観測データ

20XX 年

6 月		7 月		8 月		9 月		月	
日	最高気温	日	最高気温	日	最高気温	日	最高気温	日	最高気温
1		1	29.1	1	32.8	1	25.1	1	
2		2	29.6	2	34.3	2	26.8	2	
3		3	30.7	3	34.1	3	28.9	3	
4		4	32.1	4	33.6	4	34.0	4	
5		5	23.7	5	37.2	5	32.3	5	
6		6	21.2	6	31.5	6	32.8	6	
7	26.9	7	23.6	7	28.5	7	28.7	7	
8	30.4	8	26.9	8	29.2	8	23.1	8	
9	26.1	9	29.5	9	33.0	9	22.8	9	
10	20.8	10	31.3	10	31.8	10	21.5	10	
11	22.7	11	30.9	11	29.3	11		11	
12	23.4	12	27.7	12	29.6	12		12	
13	21.0	13	32.8	13	30.9	13		13	
14	20.8	14	31.8	14	34.8	14		14	
15	18.7	15	37.0	15	36.8	15		15	
16	20.8	16	35.2	16	33.4	16		16	
17	22.0	17	36.2	17	26.2	17		17	
18	24.4	18	34.9	18	26.4	18		18	
19	28.5	19	32.6	19	29.5	19		19	
20	23.7	20	32.8	20	29.4	20		20	
21	28.1	21	36.0	21	31.7	21		21	
22	29.3	22	36.6	22	36.1	22		22	
23	25.0	23	37.1	23	33.0	23		23	
24	29.5	24	32.9	24	35.5	24		24	
25	27.1	25	31.6	25	36.0	25		25	
26	30.5	26	32.3	26	34.5	26		26	
27	32.2	27	32.5	27	33.0	27		27	
28	28.5	28	32.0	28	29.7	28		28	
29	32.5	29	36.7	29	31.8	29		29	
30	28.9	30	33.2	30	30.5	30		30	
		31	32.1	31	27.7			31	
真夏日	10日	真夏日	26日	真夏日	28日	真夏日	5日	真夏日	0日

(工事中止期間等)

※ 3 日

(真夏日計)

計 69日

※年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間

様式(WBGT用)

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

気温計測結果報告書

工事名： ●●●●●●線道路改良工事

工事場所： 富山市 ●●●●●● 地内

工期： 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ～ 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

使用観測データ： WBGT（環境省）〔富山〕

観測データ

2020 年

6 月		7 月		8 月		9 月		月	
日	暑さ指数	日	暑さ指数	日	暑さ指数	日	暑さ指数	日	暑さ指数
1	24.2	1	23.8	1	29.3	1	30.0	1	
2	25.5	2	23.8	2		2	32.0	2	
3	23.6	3	23.7	3	29.0	3	28.8	3	
4	27.2	4	22.3	4	29.9	4	24.8	4	
5	27.0	5		5	30.6	5	30.4	5	
6	22.1	6	23.4	6	31.4	6		6	
7		7	26.4	7	26.2	7	26.9	7	
8	22.9	8	25.5	8		8	30.5	8	
9	27.1	9	26.0	9		9	27.4	9	
10	26.3	10	25.8	10	30.9	10	25.9	10	
11	23.4	11		11	33.1	11	28.4	11	
12	24.4	12		12	31.9	12		12	
13		13	21.5	13		13		13	
14		14	25.1	14		14	22.9	14	
15	25.0	15	22.6	15		15	23.8	15	
16	28.6	16	24.0	16		16	25.9	16	
17	22.7	17	24.7	17	28.7	17	27.3	17	
18	22.6	18	25.6	18	29.9	18	21.6	18	
19	21.8	19		19	29.6	19	24.2	19	
20	22.1	20	31.0	20	32.4	20		20	
21		21	30.2	21	31.1	21	22.5	21	
22	23.5	22	28.1	22	30.3	22	22.8	22	
23	25.1	23	24.0	23		23	25.6	23	
24	27.1	24	25.4	24	27.7	24	25.2	24	
25	24.7	25		25	31.2	25	25.0	25	
26	24.4	26		26	30.5	26		26	
27		27	27.4	27	30.4	27		27	
28		28	26.4	28	31.4	28	22.1	28	
29	25.4	29	26.2	29		29	22.1	29	
30	24.8	30	28.4	30		30	23.3	30	
31		31	29.5	31	29.2	31		31	
真夏日	10日	真夏日	15日	真夏日	21日	真夏日	14日	真夏日	0日

(工事中止期間等)

※ 3 日

(真夏日計)

計 60日

※年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間

①気温で計測（方法①）

- 1 気象庁HPの各種データ・資料＞「過去の気象データ・ダウンロード」へ

URL : <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

- 2 地点を選ぶ（①地点を選ぶ → ②富山県 → ③該当の「地点」を選択）

過去の気象データ・ダウンロード !!重要なお知らせ このページで
気象データの

① 検索条件 選択済みのデータ

地点を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

すべての選択済みの地点をクリア

一回のリクエストで表示・ダウンロードできるデータ量には上限があります（右上傳グラフ参照）。また、このページへのアクセスが集中したり、リクエストのデータ量が多い場合には、表示・ダウンロードまで時間がかかる場合があります。

まず、都道府県を選んでください

②



過去の気象データ・ダウンロード !!重要なお知らせ このページの使い方 よくある質問 CSVファイルの形式

検索条件 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

地点を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

この画面で選択したすべての地点を削除

他の都道府県を選ぶ

富山県全地点

③

富山

※選択した地点が「施工現場の最寄り地点」か確認

3 項目を選ぶ (④項目を選ぶ → ⑤日別値 → ⑥日最高気温)

検索条件 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

地点を選ぶ ④ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

データの種類 ⑤

- ☐ 時別値
- ☒ 日別値
- ☐ 2日別値
- ☐ 半旬別値
- ☐ 旬別値
- ☐ 月別値
- ☐ 3か月別値※

最初に選択してください

過去の平均値との比較オプション

- ☐ 平年値も表示
- ☐ 平年値からの差(比)も表示 (平年値:1981年から2010年の30年平均値)
- ☐ 前年までの1年平均も表示
- ☐ 前年までの1年平均からの差(比)も表示

項目 気温 降水 日照/日射 積雪/降雪 風 湿度/気圧 雲量/天気

⑥

- ☐ 日平均気温
- ☐ 日最高気温の日平均
- ☐ 日最低気温の日平均
- ☒ 日最高気温
- ☐ 日最低気温
- ☐ 日最高気温の日最低※
- ☐ 日最低気温の日最高※
- ☐ 日平均気温 25℃以上の日数(日)
- ☐ 日平均気温 0℃未満の日数(日)
- ☐ 日最高気温 25℃以上の日数(日)
- ☐ 日最高気温 0℃未満の日数(日)
- ☐ 日最低気温 25℃以上の日数(日)
- ☐ 日最低気温 0℃

※選択した気温が「日最高気温」となっているか確認

☐ 最高・最低(最大・最小)値の発生時刻を表示

画面に表示 ▶

CSVファイルをダウンロード ▶

選択地点・項目をクリア

選択された地点 新潟県 削除

選択された項目 日最高気温 削除

選択された期間(日本標準時)

利用上注意が必要なデータを表示させる
観測環境などの変化以前のデータを表示させる
ダウンロードデータはすべて数値で格納

4 期間を選ぶ (⑦期間を選ぶ → ⑧工期を入力)

過去の気象データ・ダウンロード 重要なお知らせ このページの使い方 よくある質問 CSVファイルの形式

検索条件 ⑦ 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

地点を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

期間

☒ 連続した期間で表示する

⑧

2020年 6月 7日から 2020年 9月 10日まで

⑧プルダウンメニューから期間を選択
※工期が6月7日～9月10日の場合

☐ 特定の期間を複数年分、表示する

1月 1日から 1月 1日の値を
2020年から 2020年まで表示

画面に表示 ▶

CSVファイルをダウンロード ▶

地点・項目をクリア

選択された地点 新潟県 削除

選択された項目 日最高気温 削除

選択された期間(日本標準時)

2020年6月7日から
2020年9月10日までの日別値を表示

※選択した「工期」となっているか確認

6 画面に表示 (⑨画面に表示) ※画面で確認する場合

検索条件 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

地点を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

画面に表示 ▶

⑨ CSVファイルをダウンロード ▶

期間選択の使い方

期間

☒ 連続した期間で表示する

最近1年 最近1か月

2020 年 6 月 7 日から

2020 年 9 月 10 日までの日別値を表示

☐ 特定の期間を複数年分、表示する

1 月 1 日から 1 月 1 日の値を

2020 年から 2020 年まで表示

選択地点・項目をクリア

選択された地点 富山

観測項目 日最高気温

削除

選択された期間 (日本標準時)

2020年6月7日から

2020年9月10日までの日別値を表示

選択されたオプション

利用上注意が必要なデータを表示させる

観測環境などの変化以前のデータを表示させる

ダウンロードデータはすべて数値で格納

検索結果 データの表記と意味 CSVファイルの形式

メニューページに戻る ▶

CSVファイルをダウンロード ▶

年月日	富山 最高気温(℃)
2020年6月7日	24.3
2020年6月8日	26.5
2020年6月9日	32.4
2020年6月10日	31.9
2020年6月11日	32.1
2020年6月12日	25.3
2020年6月13日	24.5
2020年6月14日	24.5
2020年6月15日	31.1
2020年6月16日	29.5
2020年6月17日	24.4
2020年6月18日	26.0
2020年6月19日	23.2
2020年6月20日	23.4
2020年6月21日	24.3
2020年6月22日	25.2

※スクロールバーを移動し、指定した期間
の観測データとなっているか確認

気温で計測(方法①)

7 CSVファイルの出力 (⑩CSVファイルをダウンロード)

検索条件 選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

地点を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

画面に表示 ▶

⑩ CSVファイルをダウンロード ▶

選択地点・項目をクリア

選択された地点 観測項目
富山 削除

選択された項目
日最高気温 削除

選択された期間(日本標準時)
2020年6月7日から

期間

連続した期間で表示する

最近1年 最近1か月

2020年 6月 7日から
2020年 9月 10日までの日別値を表示

特定の期間を複数年分、表示する

1月 1日から 1月 1日の値を
2020年から 2020年まで表示

CSVファイルを保存する。

又は

検索結果 データの表記と意味 CSVファイルの形式

メニューページに戻る ▶ ⑩ CSVファイルをダウンロード ▶

年月日	富山 最高気温(℃)
2020年6月7日	24.3
2020年6月8日	26.3
2020年6月9日	32.4
2020年6月10日	31.9
2020年6月11日	32.1
2020年6月12日	25.3
2020年6月13日	24.5
2020年6月14日	24.5
2020年6月15日	31.1
2020年6月16日	29.5
2020年6月17日	24.4
2020年6月18日	26.0
2020年6月19日	23.2
2020年6月20日	23.4
2020年6月21日	24.3
2020年6月22日	25.2

※6の「期間を選ぶ」→「画面に表示」から
「CSVファイルをダウンロード」を選択し、
ファイルを保存する。

- 1 上記で確認、出力した結果を取りまとめ、監督員へ提出してください。
- 2 報告内容は①工事名、②工事場所、③工期、④使用観測データ、⑤観測データ（算出根拠）、⑥工事中止期間等の分かる資料
- 3 様式は任意様式とする。

気温で計測(方法①)

①気温で計測（方法②）

- 1 気象庁HPの各種データ・資料＞「過去の気象データ・ダウンロード」へ

ULR: <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/select/prefecture00.php>

- 2 都府県・地方の選択（①富山県）



- 3 地点の選択（②富山、秋ヶ島、八尾から）



気温で計測(方法②)

4 年月日の選択、データの種類の選択 (③年 → ④月 → ⑤日ごとの値)

ホーム | 防災情報 | 各種データ・資料 | 知識・解説 | 気象庁について | 案内・申請

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索

過去の気象データ検索

各地の気温、降水量、風など | 高層の気温、風など

最新の気象データ | 過去の気象データダウンロード | 過去の地域平均気象データ

地点と年月日時を選択して、表示するデータの種類を選択してください。検索条件を全てクリア

地点の選択

都道府県を選択

都道府県・地方を選択

地点を選択

富山県内の地点を選択

富山県 富山

年月日の選択

年月日の選択をクリア

2020年 1970年 1920年

2019年 1969年 1919年

2018年 1968年 1918年

2017年 1967年 1917年

2016年 1966年 1916年

2015年 1965年 1915年

2014年 1964年 1914年

2013年 1963年 1913年

2012年 1962年 1912年

2011年 1961年 1911年

2010年 1960年 1910年

2009年 1959年 1909年

2008年 1958年 1908年

2007年 1957年 1907年

2006年 1956年 1906年

2005年 1955年 1905年

2004年 1954年 1904年

2003年 1953年 1903年

2002年 1952年 1902年

2001年 1951年 1901年

2000年 1950年 1900年

1999年 1949年 1899年

1998年 1948年 1898年

1997年 1947年 1897年

1996年 1946年 1896年

1月 1日 16日

2月 2日 17日

3月 3日 18日

4月 4日 19日

5月 5日 20日

6月 6日 21日

7月 7日 22日

8月 8日 23日

9月 9日 24日

10月 10日 25日

11月 11日 26日

12月 12日 27日

13日 28日

14日 29日

15日 30日

31日

データの種類の選択

年ごとの値を表示

年ごとの平均値を表示

月ごとの値を表示

月ごとの平均値を表示

旬ごとの値を表示

旬ごとの平均値を表示

半旬ごとの値を表示

半旬ごとの平均値を表示

日ごとの値を表示

日ごとの平均値を表示

10分ごとの値を表示

10分ごとの平均値を表示

地点ごとの観測史上1～10位の値

要素別データの公開期間

③、④「工期」をクリック
※工期が6月7日～9月10日の場合

⑤

平均値は1981～2016年の36年間の観測の平均をもとに算出しています。



日ごとの値

一覧表

グラフ

見出しの固定

メニューに戻る

主な要素

詳細(気圧・降水量)

詳細(気温・蒸気圧・湿度)

詳細(風)

詳細(日照・雪・その他)

前年

前月

前日

翌日

翌月

翌年

月ごとの値

旬ごとの値

半旬ごとの値

日ごとの値

富山 2020年6月(日ごとの値) 主な要素

日	気圧(hPa)		降水量(mm)		気温(℃)			湿度(%)		風向・風速(m/s)			日照時間(h)	雷(cm)		天気概況		
	現地	海面	合計	最大1時間	最大10分間	平均	最高	最低	平均	最小	平均風速	最大風速		最大瞬間風速	降雪合計	最深積雪	天気概況	
																	昼(06:00-18:00)	夜(18:00-翌06:00)
1	1007.5	1006.5	0.0	0.0	0.0	23.0	26.6	20.2	65	52	3.1	7.3	12.2	3.8	—	曇一時雨	曇後時々雨、雷を伴う	
2	1006.1	1006.1	4.0	3.0	2.0	22.5	27.6	18.8	81	50	2.2	6.7	11.1	5.8	—	時々曇一時雨	曇	
3	1003.8	1006.8	0.0	0.0	0.0	22.4	28.9	18.5	69	40	1.9	4.6	7.3	5.2	—	曇時々晴一時雨	曇時々晴	
4	1002.6	1004.6	—	—	—	24.3	32.3	15.2	64	35	2.3	5.4	8.5	11.6	—	晴	曇後一時晴	
5	1004.4	1006.4	—	—	—	24.1	30.4	19.3	75	50	2.5	5.1	7.6	10.7	—	晴後曇	曇一時晴	
6	1007.9	1008.9	—	—	—	21.3	24.5	18.7	75	50	3.4	6.2	8.2	3.6	—	曇	曇後時々晴	
7	1010.0	1012.0	—	—	—	19.9	24.3	16.0	77	56	3.1	6.0	8.3	10.4	—	晴時々曇	晴	
8	1014.7	1016.7	—	—	—	21.2	26.3	16.0	74	53	2.3	4.6	6.6	13.5	—	晴	晴	
9	1015.5	1017.5	—	—	—	25.0	32.4	16.7	66	34	2.0	4.2	6.6	13.4	—	晴	晴一時曇	
10	1011.2	1013.2	0.0	0.0	0.0	27.1	31.8	21.5	59	38	3.7	6.5	11.8	12.2	—	晴	曇時々雨	
11	1009.2	1006.2	23.5	13.0	5.0	25.5	32.1	21.6	81	47	3.0	7.0	10.2	1.4	—	曇一時晴後雨、雷を伴う	雨時々曇	
12	1004.5	1006.5	12.5	3.5	2.5	22.5	25.3	20.6	93	78	1.9	5.0	9.0	0.2	—	雨時々曇	曇後一時雨	
13	1006.3	1007.3	10.0	4.5	1.0	22.3	24.5	20.3	93	81	1.6	4.3	9.3	0.3	—	雨後時々曇	曇	
14	1002.3	1004.3	81.5	18.0	5.5	22.6	24.5	20.1	97	92	2.7	9.0	16.5	0.3	—	大雨時々曇、雷を伴う	大雨時々曇、雷を伴う	
15	1001.5	1003.4	4.0	7.5	3.0	25.2	31.1	21.4	77	55	4.2	9.5	13.3	11.4	—	晴後時々曇	曇時々晴	
16	1002.0	1004.0	—	—	—	23.2	29.5	17.8	70	44	3.7	9.1	15.3	10.2	—	晴後時々曇、雷を伴う	曇時々晴	
17	1006.5	1007.5	—	—	—	20.6	24.4	16.3	78	61	2.3	5.1	7.4	9.5	—	晴時々曇	曇時々晴	
18	1008.4	1006.4	5.0	2.0	0.5	21.3	26.0	17.3	85	62	1.6	3.8	5.1	0.0	—	曇後時々雨	雨後一時曇	
19	999.9	1001.9	10.0	3.5	1.0	20.7	23.2	18.4	81	74	2.6	5.5	8.5	0.0	—	雨時々曇	曇時々雨	
20	1008.8	1010.8	0.0	0.0	0.0	19.9	23.4	16.7	77	59	3.7	5.7	8.4	5.3	—	曇時々雨後晴	晴時々曇	
21	1008.8	1010.8	—	—	—	20.4	24.3	15.1	77	57	2.4	5.3	7.6	12.6	—	晴	曇	
22	1007.2	1008.2	0.0	0.0	0.0	22.1	25.2	19.0	82	68	2.1	5.0	6.7	1.1	—	曇	曇時々雨	
23	1006.7	1010.7	0.0	0.0	0.0	23.3	27.7	20.0	79	53	2.6	5.6	8.4	10.0	—	晴時々曇	晴時々曇	
24	1007.9	1009.9	—	—	—	24.5	30.1	18.1	78	57	2.4	5.3	8.5	12.1	—	晴一時曇	曇時々晴後雨	
25	1008.8	1006.8	8.5	3.0	1.0	24.7	29.1	21.1	87	65	2.0	3.9	6.8	1.5	—	曇一時晴後雨	雨時々曇	
26	1009.0	1006.0	45.5	12.0	5.5	24.7	28.4	22.1	87	65	3.9	7.2	13.1	0.9	—	大雨時々曇、雷を伴う	曇時々晴	
27	1003.8	1006.8	—	—	—	25.1	29.9	20.7	74	52	2.9	6.1	9.3	—	—	—	—	
28	1001.0	1006.0	8.0	4.0	1.5	22.7	26.8	20.4	86	72	2.7	6.1	8.1	8.1	—	—	—	
29	1006.8	1007.8	—	—	—	22.7	27.1	19.2	78	58	2.1	5.2	7.0	7.0	—	—	—	
30	998.8	1000.8	17.0	5.0	2.5	24.0	28.8	20.1	81	62	4.3	10.1	16.2	—	—	—	—	

※他の月を確認する場合は③「年月日の選択」へ戻る

※データを出力する場合は、気温の計測(方法①)で出力してください。(方法②は閲覧のみの場合)

気温で計測(方法②)

②暑さ指数（WBGT）で計測

- 1 環境省HPの熱中症予防情報サイトへ

URL : http://www.wbgt.env.go.jp/record_data.php

- 2 地点を選択（①地方〔北陸地方〕 → ②都府県〔富山県〕 → ③該当の「地点」を選択）

The screenshot shows the '暑さ指数(WBGT)の実況と予測' (WBGT Actual and Forecast) page. It features three dropdown menus for location selection, numbered 1, 2, and 3. Red arrows indicate the selection path: ① 地方 (North China region), ② 都府県 (Toyama Prefecture), and ③ 地点 (Toyama City). Below the dropdowns, a list of locations is shown, with '富山' (Toyama) selected. A blue arrow points down to the '暑さ指数(WBGT)' page, which displays the '過去データ' (Past Data) section. The date range is set to 2020年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月. A red dashed box highlights the months 6, 7, 8, and 9, with a note: '④工期が含まれる月をクリック ※工期が6月7日～9月10日の場合' (Click the month containing the construction period ※ If the construction period is from June 7th to September 10th).

- 1 上記で確認、出力した結果を取りまとめ、監督員へ提出してください。
- 2 報告内容は①工事名、②工事場所、③工期、④使用観測データ、⑤観測データ（算出根拠）、⑥工事中止期間等の分かる資料
- 3 様式は任意様式とする。

暑さ指数で計測

「熱中症対策に資する現場管理費補正」の運用について Q&A

令和〇年〇月〇日
〇〇課

番号	Q. 質問	A. 回答	備考
1	熱中症対策の現場管理費補正において、対策実施状況を確認しなくても良いのか。	日報や現場確認等において対策実施の有無を確認してください。	
2	夜間工事で、時間帯の一部で日中も重なっているのだが、真夏日はどのように判断すればよいでしょうか。	夜間工事が工事の大半を占める場合は、作業時間帯における真夏日で判断してください。	
3	積算方法等について、 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期とあるが、具体的には、どの期間を想定しているのか。	「工期期間中の真夏日」では、契約工期の始期から真夏日の計測結果を提出する工事打合せ簿の日付けまでを想定しております。 「工期」とは、契約工期の始期から終期までを基本としますが、完成届の提出日と契約工期の乖離が大きい場合等、これによらない場合は、受発注者間協議のうえ、終期を設定することも可能です。	
4	熱中症対策補正の特記仕様書への記載は、冬期に施工する工事についても記載する必要があるか。	真夏日が工期期間中に明らかに含まれないと想定される場合は、熱中症対策補正の特記仕様書への記載をしなくても問題ありません。	
5	対象工事とは何か。	国土交通省（土木）、農林水産省、厚生労働省所管の主たる工種が屋外作業である工事を対象とする。ただし、工場製作工を含む工事は当該期間を工期から除くものとする。	
6	「現場環境改善費（避暑（熱中症防止）・防寒対策）」と「本補正」の違いは何か。	対象となる項目が異なります。 ○熱中症対策に資する現場管理費補正の試行 ➢ 作業員個人に対する熱中症対策費用（塩飴、経口保水液等効果的な飲料水等） ○現場環境改善費（避暑（熱中症防止）・防寒対策） ➢ 現場の施設や設備に対する熱中症対策費用（日よけテント、遮光ネット等）	